

平成22年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校3年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きか」という質問に対し、ほぼ全員が「好き」と答えており、また、教科ごとの質問にもほとんどの教科において市の平均を上回っていることから、高い学習意欲をもっていることが伺える。授業への取り組みや勉強に対する気持ちや態度については、「先生から指名されたら返事をしている」や「友達の話最後まで聞いている」などの項目で昨年度より肯定の割合が上がっており、落ち着いて学習に取り組む姿勢が身についてきていると思われる。反面、「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」では、あまりあてはまらないと答えているので、自主的学習を行わせたり、課題解決学習を取り入れたりしていくようにする。
- ・ 世の中のことへの興味や関心が市の平均より高く、「世の中の出来事に関心があり、新聞やテレビから情報を得ている。」「世の中で問題になっていることについて、どうすればよいか考えたことがある。」などについて、市の平均を大きく上回り、昨年度よりも肯定割合が高くなっている。折に触れ世の中の出来事について話し合う機会を設けたことや、家庭でもテレビを見ながら話題にしているということもきっかけとなるようである。
- ・ 「学校での生活に満足しているか」という質問に対しては、ほぼ全員が「はい」と答え、充実した学校生活を送っている様子が伺える。あいさつや学校でのきまり・約束についても高い割合で肯定しており、明るく落ち着いた生活を送っているといえる。
- ・ 家の人、友達、先生に対してのあいさつの肯定割合は高いが、言葉遣いについてはあまり気をつけていないという児童も見られる。日々の生活の中で言葉づかいに注意させるようにしたい。あいさつについても自分ではあいさつをしているつもりでも、相手に伝わっていないこともあるので、気持ちの良い元気なあいさつができるようにしたい。
- ・ 自分自身のこと、友達のこと、家の人や先生についての項目においても高い割合で肯定しており、生活に対する満足度は高い。しかし、「朝自分で起きることができる」や「夜きまった時間に寝ている」の項目が低い傾向にあることから、家庭に生活のリズムを整えるよう呼びかけていく必要がある。
- ・ 読書時間、テレビ等を見る時間、テレビゲーム等をする時間のどれも市の平均と同じ傾向にある。就寝時間も8割以上の児童が9時までに寝ており、健康的な生活を送っているといえる。携帯電話は、ほとんどの児童が持っていなかった。平日の読書時間は個人差があるものの、長い児童が多い。しかし、土・日曜日は他にやることが多いのか、読書時間は短い。「学校の他で、1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか。」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか。」という質問に対しては、1時間以上見ている割合がやや高く、学校が休みの日は、2時間以上と回答している割合が半数近い。休日の過ごし方について見直しをさせ、有効に時間を使えるように指導していく必要がある。
- ・ 朝食はほぼ全員がとり、また好き嫌いなく食べている児童の割合も高く、好ましい傾向にあるといえる。「運動は好きか」や「歯磨きをしているか」、「健康や体力に自信があるか」の質問に対しても高い割合で肯定しており、健康・体力への意識が高い様子が伺える。